

国際統合防爆指針 2015 第 7 編 (JNIOOSH-TR-46-7:2015) 初版と改訂版との相違点

国際統合防爆指針 2015 (Ex 2015) の初版 (2015 年 5 月発行) と改訂版 (2018 年 10 月発行) との相違点は下表に示すとおりである。

ページ	箇条/段落	初版	改訂版	修正理由
表紙	指針名	国際統合防爆指針	国際統合防爆指針 2015	初版発行年の追加
表紙	表題		「(改訂版)」の追加	識別のため
表紙	発行者名	独立行政法人労働安全衛生総合研究所	独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所	組織変更のため
7-1	箇条 2 / 段落 1		段落 1 の末尾に次の文言を追加。 「ただし、技術指針 (JNIOOSH-TR-46) の編については、最新版及びその一つ前の版を適用する。」	防爆電気機械器具の検定において、現行版とその一つ前の版が有効であることを明示するため。
7-1 及び 7-2	箇条 2 / 文書リスト	JNIOOSH-TR-46-1:2015, JNIOOSH-TR-46-5:2015, JNIOOSH-TR-46-6:2015, JNIOOSH-TR-46-8:2015 及び JNIOOSH-TR-46-9:2015	JNIOOSH-TR-46-1, JNIOOSH-TR-46-5, JNIOOSH-TR-46-6, JNIOOSH-TR-46-8 及び JNIOOSH-TR-46-9	同上
7-5	6.1 / 段落 1	…の最大値を…	…の最高値を…	用語の統一
7-13	7.4.3.2 / 表 5 / d の参照箇条	7.2.3.2	7.2.4.2	誤記の修正
7-20	8.2.4.1	電圧 U が、ピーク値で 90 V を超える機器の場合、試験電圧は 48Hz～62Hz で $2U + 1,000 \text{ V}_{\text{rms}}^{+5\%}$ とする。ただし、1,500 V_{rms} 以上とする。代替法として、試験電圧を直流 $2U + 1,000 \text{ V}$ とする。ただし、直流 2,100 V 以上とする。	電圧 U が、ピーク値で 90 V を超える機器の場合、試験電圧は 48Hz～62Hz で $2U + 1,000 \text{ V}_{\text{rms}}^{+5\%}$ (ただし、1,500 V_{rms} 以上) とする。代替法として、試験電圧を直流 $2U + 1,400 \text{ V}$ (ただし、直流 2,100 V 以上) としてもよ	誤記の修正

			い。	
7-22	9.2/段落 6	特別な使用条件…	特定の使用条件…	用語の統一
奥付			タイトル, 発行日, 著者, 発行者等の変更	現状に合わせて修正
裏表紙	英文表題		(Revised version)の追加	識別のため